

山根議員

(1) 「るのバス」に電気バス導入について

日本共産党市議団は、本年7月25日に羽村市の電気バスを試乗視察してきた。

羽村市は、環境に対する取り組みを広くアピールできることから電気バスの導入を検討し、本年3月10日から運行を開始した。購入費用はすべて国と東京都の補助金でまかなうことができたとのことである。「はむらん」は電気バス導入でバス5台になり、新たにコースを増やし足の確保に取り組んでいる。一方、当市で運行している循環バス「るのバス」は、運行を開始してから12年がたとうとしているが、財政的なことを理由にいまだに1台で運行をしている。

「環境都市」を掲げるあきる野でも、電気バスの導入をぜひ検討すべきと考えるが、市の考えを伺う。

(2) 横田基地米軍機の騒音対策とオスプレイ飛来について

横田基地米軍機の騒音対策についてこれまでも再三議会で取り上げ要請してきたところである。最近では草花・二宮・小川地域に加え学校施設の真上を飛ぶなどその範囲も広範囲になっている。住民の命と安全を守る観点からも、米軍横田基地に対して市長が抗議をすべきと考えるが市長の考えを伺う。

米軍機の騒音測定器を設置すべきと思うが設置の考えは。

米海兵隊の垂直離着陸輸送機オスプレイ配備について、沖縄県をはじめ山口県など日米両政府の計画について反対の声が広がっている。オスプレイの危険性については、開発に関係した専門家や事故調査担当者等の証言からも、その危険性がいっそう浮き彫りになっている。オスプレイの飛来、訓練については、沖縄・岩国をはじめ、現在発表されている6ルートだけでなく、東京都にもその範囲が広がることもありうるということが国会答弁でも明らかになった。防衛省は米軍横田基地も例外ではないと認めている。そこで以下に問う。

ア あきる野市として、防衛省に対して、オスプレイ飛来等にかかわる情報を含め、米軍訓練の情報の提供を求めらるべきと思うがどうか。

イ 防衛省に対し、オスプレイの配備に反対する意思を表明するとともに、横田基地への飛来・訓練を行わないよう防衛省に申し入れを行う必要があると考えるがどうか。

(3) 「非核平和都市宣言」について

今年の広島・長崎で行われた平和記念式典では、昨年3月に起こった福島原発事故と重ね、改めてこの地球上から、核兵器をなくすことの重要性が訴えられた。

被爆国の悲惨な体験から核兵器のない世界平和を求めるため、多くの自治体で非核平和都市宣言を行っている。当市においても、今こそ非核平和都市宣言を行うよう求めるがどうか。